

## IV. 社内MR認定制度について

### 1. 社内MR認定制度

#### 1) 設置状況と設置理由

[図表50]MR雇用規模別 社内MR認定制度の設置状況(年度比較)

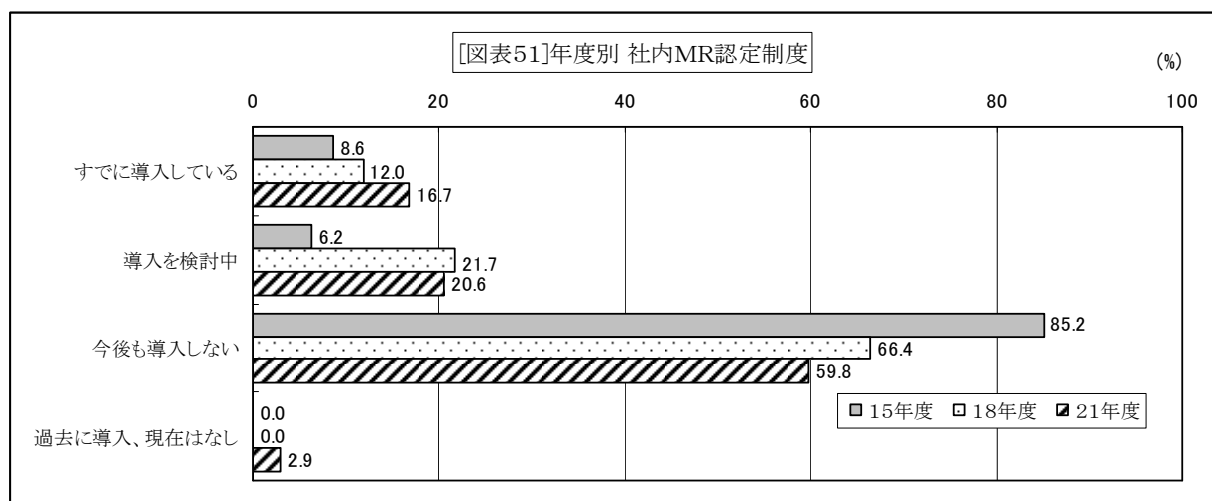
MR雇用規模	～99名			100～299名			300～499名		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
現状									
すでに導入している	3	3	8	1	3	1	4	5	6
導入を検討中	6	24	22	2	6	9	1	8	5
今後も導入しない	117	109	91	25	14	17	10	8	4
過去に導入、現在はなし	—	—	0	—	—	2	—	—	1
企業数	126	136	121	28	23	29	15	21	16

MR雇用規模	500～999名			1,000名～			全体		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
現状									
すでに導入している	6	10	11	4	5	8	18	26	34
導入を検討中	4	4	3	0	5	3	13	47	42
今後も導入しない	16	8	5	10	5	5	178	144	122
過去に導入、現在はなし	—	—	1	—	—	2	—	—	6
企業数	26	22	20	14	15	18	209	217	204

注:本欄の一部について未記入の企業があるため、図表1の企業数とは一致しない。

注:「—」は未調査項目を表す。



社内MR認定制度を既に導入している企業は、全体で34社(16.7%)、99名以下の企業で8社(6.6%)、100名以上の企業で26社(31.3%)であった。その内1,000名以上の企業で8社(44.8%)であった。

導入を検討中の企業は全体で42社(20.6%)、99名以下の企業で22社(18.2%)、100名以上の企業で20社(24.1%)であった。その内1,000名以上の企業では3社(16.7%)であった。

すでに導入している企業および導入を検討中の企業合計は、76社(37.3%)である。およそ1/3の企業で、社内MR認定制度に積極的な姿勢が認められた。

MRは「薬物治療のパートナー」として、医療関係者個々のニーズに対応できる、質の高い医薬情報活動が求められている。社内MR認定制度により、MRの資質を向上することで、医療関係者から高い信頼が得られると期待される。

[図表52]社内MR認定制度の設置理由

理由	企業数
<b>●すでに導入している</b>	
MRのモチベーション・専門能力・資質向上のため	3
MR資質向上、計画達成	3
全員が領域専門MRである	2
専門職であっても管理職と同水準の職能評価をするため	1
高度な知識を必要とする製品を担当させるため	1
専門知識が必要なため	1
領域専門MR制度はあるが、認定制度ではなく単に任命しているのみ	1
能力ある者には上のランクをめざして欲しい	1
がん専門MRを育成するため	1
自社製品知識認定試験を実施(A・Bレベル)	1
一部、商品特性に応じて導入している	1
感染症領域の強化	1
医療関係者の信頼向上	1
試験成績優秀者	1
営業部ビジョン達成に必要なため	1
5～10年目若手MRのモチベーション向上	1
目指すべきMRとして称賛するため	1
<b>●導入を検討中である</b>	
MRのレベルに差があり、上位MRのモチベーションアップのため	5
製品特性上、領域専門MRを検討中	2
取扱い製品の領域が広い	1
クライアントのニーズに合わせた高い質の人材供給を行うため	1
MRのモチベーション向上のために導入を検討中	1
製薬企業のニーズ意識の高まり	1
ニーズを具体化するための制度案を検討中である	1
自社で目指すべきMR像が示されているのであれば、その到達度も示されるべきと思う	1
抗がん剤については必要性があると判断したため	1
スペシャリスト育成とキャリアアップのため	1
オーファンドラッグを扱うため、一般のMRとは異なるレベルの知識・スキル・態度が求められる	1
より高いレベルのMRを求める、MR自身のモチベーションアップ	1
がん領域・CNSの差別化が求められるため	1
薬剤師MRとMSから転身したMRの差別化	1
<b>●今後も導入しない</b>	
MR数が少ない	10
領域が限定された製品だから	10
ジェネリック医薬品専門メーカーとしては必要性が低い	1
医療機器メーカーだから	1
モチベーションアップのため、導入したいが、CSOでは難しい	1
MR継続教育に専門領域を含めている	1
立ち上げ段階であるため	1
専門性を有する医薬品の取扱いなし	1
原則全製品を担当するため	1
医療用医薬品販売を中止、今後一般用のみとなるため	1
定期的に能力・知識を測っているため	1
MR全体としてのレベルアップが先決	1
<b>●過去に導入、現在は導入していない</b>	
認定制度の意味づけ(目的)が不明確になってしまった	1

## 2) 認定方法と認定区分

### (1) 認定方法

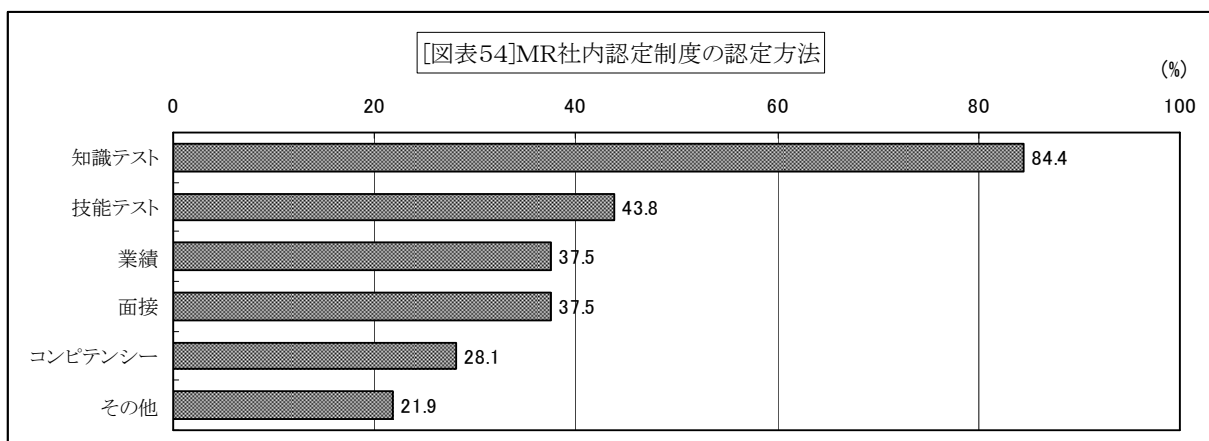
[図表53]MR雇用規模別 社内認定制度の認定方法(複数回答)

認定方法 \ MR雇用規模	～99名	100～299名	300～499名	500～999名	1,000名～	全体
知識テスト	5	1	6	9	6	27
技能テスト	3	1	3	5	2	14
業績	2	0	3	4	3	12
面接	2	1	0	5	4	12
コンピテンシー	3	0	1	2	3	9
その他※	3	0	2	1	1	7
企業数	6	1	6	11	8	32

注:本欄企業数は、回答企業数を表す。

※・社内ブログ投稿回数(情報発信)、説明会実施回数などの評価

- ・本人の希望と特性
- ・まわりのMRを含む、その人自身の評価



社内MR認定制度を導入している32社における認定方法は、知識テストが最も多く27社(84.4%)、次いで技能テスト14社(43.8%)、業績12社(37.5%)、と続く。

複数回答であり、その評価は多面的に行われていると思われる。

## (2) 認定区分

[図表55]MR雇用規模別 MR社内認定制度の認定区分(年度比較)(複数回答)

MR雇用規模 認定区分	～99名			100～299名			300～499名		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
資質レベル(上級)	1	2	3	1	2	2	3	4	4
専門領域(がんなど)	1	1	2	1	0	1	1	1	2
担当医療機関(大学病院など)	0	0	1	1	0	0	0	0	0
特定品目	0	0	2	0	1	1	0	0	0
その他※	1	0	0	0	1	0	0	0	1
企業数	3	3	6	1	3	2	4	5	6

MR雇用規模 認定区分	500～999名			1,000名～			全体		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
資質レベル(上級)	5	8	5	2	2	4	12	18	18
専門領域(がんなど)	4	4	6	2	3	4	9	9	15
担当医療機関(大学病院など)	1	2	0	0	0	0	2	2	1
特定品目	0	0	1	1	0	1	1	1	5
その他※	0	0	1	0	0	0	1	1	2
企業数	6	10	10	4	5	8	18	26	32

注:本欄企業数は、回答企業数を表す。

※・漢方製剤の基礎知識、EBM、生薬などの評価

・専門領域や継続教育の理解度

資質レベル(上級MR、スーパーMRなど)との回答が18社(56.3%)、専門領域(がん、中枢神経系など)との回答が15社(46.9%)であった。前回調査(18年度)との比較では、資質レベルが12.9ポイント減少し、専門領域が12.3ポイント増加した。

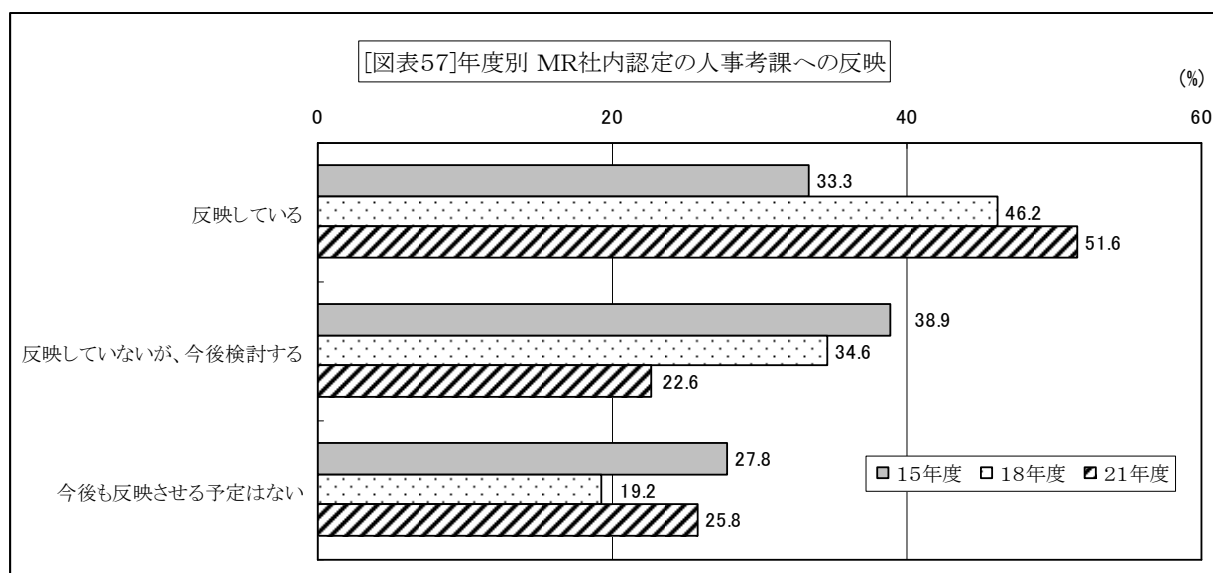
### (3) 人事考課への反映

[図表56]MR雇用規模別 MR社内認定の人事考課への反映(年度比較)

MR雇用規模 人事考課への反映	～99名			100～299名			300～499名		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
反映している	0	1	1	0	2	1	2	4	6
反映していないが、今後検討する	2	2	3	1	0	1	2	1	0
今後も反映させる予定はない	1	0	3	0	1	0	0	0	0
企業数	3	3	7	1	3	2	4	5	6

MR雇用規模 人事考課への反映	500～999名			1,000名～			全体		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
反映している	1	4	4	3	1	4	6	12	16
反映していないが、今後検討する	1	5	2	1	1	1	7	9	7
今後も反映させる予定はない	4	1	3	0	3	2	5	5	8
企業数	6	10	9	4	5	7	18	26	31

注:本欄企業数は、回答企業数を表す。



社内MR認定制度については、社内規則で制度として認めている企業と、社内規則ではなく、部門だけの制度として行っている企業も含めている。

社内認定を人事考課に反映している企業は16社であり、前回調査(18年度)と比較し4社増えた。社内認定を行っている企業の51.6%は人事考課に反映している。

## 2. 社内認定MRの特別呼称

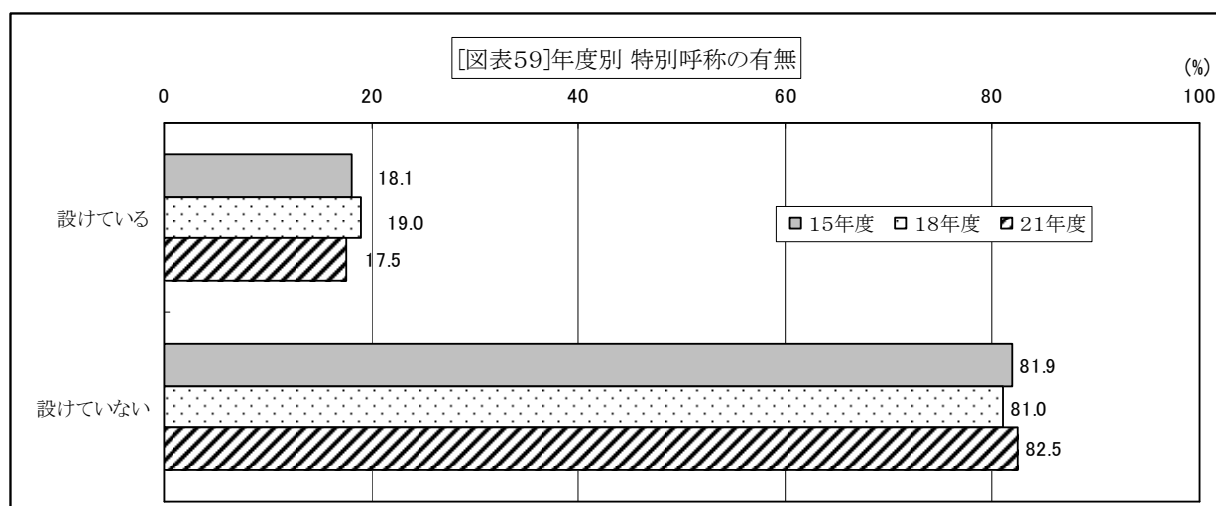
### 1) 特別呼称の有無

[図表58]MR雇用規模別 特別呼称の有無(年度比較)

MR雇用規模 特別呼称の有無	～99名			100～299名			300～499名		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
設けている	3	6	8	5	4	4	4	9	10
設けていない	103	128	115	21	18	25	9	12	6
企業数	106	134	123	26	22	29	13	21	16

MR雇用規模 特別呼称の有無	500～999名			1,000名～			全体		
	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度	15年度	18年度	21年度
設けている	12	12	11	9	9	3	33	40	36
設けていない	12	7	9	4	5	15	149	170	170
企業数	24	19	20	13	14	18	182	210	206

注: 本欄の一部について未記入の企業があるため、図表1の企業数とは一致しない。



[図表60]特別呼称の種類

特別呼称	企業数
シニアMR	5
・シニアMR	
・シニアMR(マスターMR2期終了後)	
エクセレントMR	5
・エクセレントMR	
・E-MR	
匠MR	2
プロフェッショナルMR	2
マイスターMR	2
・マイスターMR(シルバー・ゴールド・プラチナ)	
・MEISTER(マイスター)	
CNS	2
・CNS	
・CNS専任MR	
マスターMR	1
その他の呼称	32
・ADVANCED MR	
・AR(Asist Representatives)	
・CSR:眼内レンズ担当セールスレプレゼンタティブ	
・CレベルMR(社外:エキスパートMR)	
・ESR:機器担当セールスレプレゼンタティブ	
・HOC(Hematology Oncology Consultant)	
・MCC	
・M-TAC	
・OSMR(整形外科)	
・PSR:医薬品担当セールスレプレゼンタティブ	
・SMR	
・VSR:OTC担当セールスレプレゼンタティブ	
・アカデミー(統一テストの成績上位者)	
・免疫ロジースペシャリスト	
・エキスパートMR	
・エリアリーダー	
・オンコロジーMR	
・がん専門MR	
・キャリアMR	
・クリニカルMR	
・ゴールド	
・コンサルタントMR	
・コンサルティングMR	
・シニアプロフェッショナルMR	
・なでしこMR	
・パートナーMR	
・プラチナ	
・ブロンズ	
・メディカル・パートナー	
・ライゾーマー(造語)	
・上席医薬情報担当者	
・上級MR	

注:社内MR認定制度を規則としている企業に限らず、MRに特別な呼称をつけているものを問うたもの。

## 2) MRのインセンティブ

[図表61]インセンティブの内容

インセンティブ一覧
・管理職と同様の評価
・希望学会参加(国内、海外)
・特別手当
・給与優遇
・認定証授与
・認定者専用ネームプレート
・特別研修プログラム参加者としてノミネート
・バッジと一時金支給